



たかやま

令和4年2月

第81号

# 議会だより



- 議案の主な内容及び結果 (第4回定例会) ..... P2~
- 一般質問 村政のここを問う! ..... P6~
- 議会活動報告 ..... P10~
- お知らせ・村民ひろば ..... P11~

発行 群馬県高山村議会 編集 議会広報編集特別委員会

〒377-0792 群馬県吾妻郡高山村大字中山2856-1 TEL0279-63-2111 (代) FAX0279-63-2768

E-mail [info@vill.takayama.gunma.jp](mailto:info@vill.takayama.gunma.jp)

# 本宿田中で宅地造成を実施

## 人口減少対策として6区画を2871万円で整備

令和3年第4回定例会は11月30日から12月7日までの日程で開催されました。条例の一部改正や補正予算など16議案が提出され、全議案が可決されました。また、4名の一般質問が行われました。

### 議案の主な内容

#### ◆ 条例

● 高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

● 高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について

ともに、期末手当の年間支給率を0・15月分引き下げ4・3月分とするもので、可決されました。

国家公務員の給与や勤務条件が社会一般の情勢に適應するよう、人事院が内閣に行っている報告や勧告（人事院勧告）を参考に、群馬県の人事委員会でも同様の勧告（人事委員会勧告）を行っています。人事委員会を置かない市町村ではこれらの勧告に準じて給与改定を行っています。

● 職員の給与に関する条例の一部改正について

● 高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

ともに、期末手当の年間支給率を0・15月分引き下げ2・4月分と改めるもので、可決されました。

● 高山村国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令の改正に伴うもので、可決されました。

出産一時金を4000円引き上げ40万8000円とするものですが、産科医療補償制度加入の医療機関で出産した場合の加算額が4000円減額されたため、実際の支給額は42万円で変更はありません。

● 高山村消防団条例の一部改正について

消防庁が定めた消防団員の報酬の基準に基づき、団員の年間報酬を8500円増額の3万6500円とし、1回当たり8000円の出勤報酬を新たに支給するもので、可決されました。

#### ◆ 補正予算

● 令和3年度一般会計（第6号）

専決処分により、地域経済対策として実施したプレミアム付商品券の追加販売に係る費用1

## 第4回定例会 議案の主な内容

866万円を増額し、予算総額を30億5557万1000円としたもので、承認されました。

### 令和3年度一般会計 (第7号)

4614万8000円を増額し、予算総額を31億171万9000円とするもので、可決されました。

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種費用として336万1000円、原堂山区の農道整備費用として3410万円が計上されました。

#### 【本会議質疑】

**平形眞喜夫** 今後の藤沢市との交流についての考えは。

**村長** 藤沢市との付き合いは平成26年から始まり、全国から20近くの自治体に参加している藤沢市民まつりに参加してきた。市庁舎の建て替えやコロナ等により開催ができず今に至っているが、開催されるようになれば

交流を再開したいと考えている。

**平形眞喜夫** 「野菜王国・ぐんま」総合対策事業の内容は。また、同じ人が複数回補助を受けることは可能か。

**農林課長** 大規模野菜経営体育成支援、ぐんまの野菜産地育成支援、次世代農業ステップアップ支援、種苗生産・供給体制支援を目的に補助金を交付するもの。また、事業主体である群馬県では、計画目標を達成していれば続けて補助は受けられるとしている。

**山口英司** 道の駅中山盆地施設管理事業186万5000円は、防火シャッターの設置とのことであるが、設置理由は。

**地域振興課長** 防火査察で指摘を受け改修するもので、防火シャッター作動時に何か挟まった場合には自動的に停止する安全装置を備えたものとする。

**山口英司** むらの中心地づくり事業の専門員謝礼、事業運営参加スタッフ謝礼、人材育成支援に係る講師謝礼は当初予算でも計上されていた。今回の増額理

由は。

**地域振興課長** 観光交流館オープンに向けた準備に伴い依頼回数が増加したためである。

**山口英司** これは当初に計画すべきものであり、あとから足し算で出てくると、当初予算はなんだったのかということになる。よく考えて計画していただきたい。

**後藤明宏** 中山新田宿に明治5年に建てられた古民家「奈良屋」の活用について、屋敷の隣には1ヘクタール以上の田畑があり、むらの中心地づくり事業での活用には最適と思われる。以前、村長は母屋はシェアハウスや貸しスペース、蔵はカフェや飲食店として2、3年かけて検討するとしていたが、その検討状況は。

**村長** 公機関での経営は難しいため、民間活力による地域活性化を図り地権者と協議を進めてもらっていたがうまくいかなかった。今後は役場を窓口として協議を続けていきたい。

**後藤肇** 特定空き家対策の今後

の進め方は。

**建設課長** 特定空き家の候補となる物件は3件と把握しており、所有者とも話をしているが、いい方向には進んでいない。さしずめ、倒壊が始まったところの調査を行い、空家対策協議会で特定空き家に指定するかどうかを決定する。

**奈良哲男** 消防団への入団員勧誘はどのように行っているか。また、今後は2分団制とするなど抜本的な組織改革が必要と思うが。

**総務課長** 消防団員が村に残っている若い人たちに声をかけて勧誘を行っている。また、今後問題については検討委員会を立ち上げて対応していきたい。

**奈良哲男** 将来的には女性団員についても検討していただきたい。

**総務課長** 現在、女性団員に関するアンケートを実施している。回答結果を踏まえてさらに検討していきたい。

**林和一** 熊野公民館内備品整備事業補助金として190万円が

計上されているが、この事業の採択基準の説明を。

**総務課長** 市町村振興協会が事務を執り行っている事業で、宝くじの交付金が充てられている。備品は全額助成となるが娯楽性の高いものなどは認められず、採択基準に合っていないも必ず採択されるものではない。

## ●令和3年度一般会計 (第8号)

2300万円を増額し、予算総額を31億2471万9000円とするもので、可決されました。

子育て世帯等臨時特別給付金(現金給付分)を支給するための費用となります。

### 【本会議質疑】

**林和一** 子育て世帯への臨時特別給付は先行給付として現金で5万円、その後5万円分をクーポン券で支給する方針との報道がされている。また、太田市で

は後半の5万円分も現金支給する考えであるとの報道もあつた。村はどのような対応を考えているか。

**保健みらい課長** 国は、「現金支給5万円と併せ5万円相当のクーポン券を基本とした給付を行う。ただし、地方自治体の実情に応じて現金給付も可能とする。」としている。クーポン券を支給するよりも現金給付したほうが手間も費用も少なくなる

が、子供のために使われない可能性もあるとして、子育てに関するものには使えないクーポン券の給付を考えたのだと思われる。まだ具体的な内容が示されていないので、国の動向や近隣町村の様子などを検討しながら柔軟に対応したいと考えている。

## ●令和3年度国民健康保険特別会計 (第2号)

501万6000円を増額し、予算総額を5億2174万5000円とするもので、可決

されました。

## ●令和3年度後期高齢者医療特別会計 (第1号)

158万7000円を増額し、予算総額を5253万7000円とするもので、可決されました。

## ●令和3年度介護保険特別会計 (第2号)

3902万8000円を増額し、予算総額を5億869万3000円とするもので、可決されました。

中山の郷の入居定員が25人から29人に変更されたことなどにより地域介護サービス給付費が1690万円増額されました。

## ●令和3年度土地開発事業特別会計 (第2号)

1687万円を増額し、予算総額を2387万1000円とするもので、可決されました。

2か年の継続事業として行う本宿田中地区での宅地造成に伴う用地取得費1300万円と本年度分の宅地造成費など387万円が計上されました。なお、来年度の宅地造成費は2486万円が見込まれています。

### 【本会議質疑】

**後藤明宏** プロポーザル方式による業者選定の説明を。

**総務課長** プロポーザル方式とは企画競争入札と言われるもので、高度・専門的な技術が要求される業務の発注に使われる。一般競争入札、指名競争入札では価格競争方式を取り入れているが、プロポーザル方式では金額と内容の総合判断によって契約者を決定する。

設計・施工の一元化により設計、施工業者等の選定作業が軽減され、工期の短縮も期待できる。一方、設計業者によるチェック機能が働きにくくなり、発注者が丸投げしたような状態にもなりかねない。

# 第4回定例会 議案の主な内容

※地方公共団体の調達

地方自治法では、最も競争性、透明性、経済性に優れた一般競争入札を原則として掲げつつ、一定の場合には、指名競争入札、随意契約（プロポーザル方式等）による方法により契約を締結することが認められています。

**後藤肇** 現在は本宿の田中と五領の下ノ宿が進められているが、今後の宅地造成事業についてどう考えているか。

**村長** 継続的に実施すべき事業だと考えている。現在進めているところが完了すれば、また次のところを模索していきたい。  
**林和一** 本宿田中地区での宅地造成について、事業採択から候補地決定までの経過説明を。

**副村長** 宅地造成の目的は少子高齢化・人口減少対策が一番の根幹にあると思っている。場所の選定に当たっては、公共施設、公共交通機関、店舗などへの利便性や環境、景観などを考えた中で、今回は五領の下ノ宿と本宿の田中を候補地とした。

●令和3年度農業用水事業特別会計（第2号）

29万4000円を増額し、予算総額を2678万9000円とするもので、可決されました。

●令和3年度簡易水道事業特別会計（第2号）

378万9000円を増額し、予算総額を1億3870万5000円とするもので、可決されました。

●令和3年度高山村水をきれいにする事業特別会計（第2号）

979万1000円を増額し、予算総額を1億6286万3000円とするもので、可決されました。



## 第4回定例会 議案などの審議結果

	賛	反	議決結果	1 後藤 明宏	2 佐藤 晴夫	3 林 和一	4 後藤 肇	5 野上 富士夫	6 山口 英司	7 平形 眞喜夫	8 奈良 哲男	9 小林 進	10 林 昌枝
専決処分の承認を求めることについて(令和3年度高山村一般会計補正予算(第6号))	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高山村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高山村特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の給与に関する条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高山村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高山村国民健康保険条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
高山村消防団条例の一部改正について	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村一般会計補正予算(第7号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村介護保険特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村土地開発事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村農業用水事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村水をきれいにする事業特別会計補正予算(第2号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和3年度高山村一般会計補正予算(第8号)	9	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—



後藤 肇 議員

## 観光交流館オープン 記念行事の開催を

〈議員〉 村内では最大のふるさと祭り、他に村民運動会等が開催されています。100年先まで住みたくなる村にするために各施策を計画的に実施することが必要で、中山盆地を中心とした、誰でもが参加でき、企画段階から村民に参画してもらおう必要があると考え提案いたします。(例として、オリエンテーリング、徒歩競争、長距離、その他)



## 既存行事の 充実を図る

〈村長〉 「たからのやま たかやま」をコンセプトとした観光交流館は、今春の完成を目指して工事を進めている。昨年からのコロナ禍において、村の行事のふるさと祭りが中止されており、観光交流館においては来春プレオープンを実施し、5月大型連休時において、その時の状況を加味し、感染防止対策に努め、密にならないようオープン記念イベントを竣工式と共に開催を検討しております。また、ふるさと祭りについても、ふるさと祭り実行委員会において、中心地での開催を含め、日程や内容についても検討してまいります。

今後は、道の駅中山盆地を中心とした、中心地への持続する集客を目的とした、定着するようなイベントを検討し、村の観光資源を活用し、農産物等の魅力を発信する短期的なイベント

を振興公社と連携を取りながら開催してまいります。村内の飲食店や観光スポット21か所を巡るスタンプラリーの「たからのやま巡り」を開催しており、観光交流館を新たに加えることで村外からの来村する方たちの増加を期待できるものと思いません。関係人口の増加やリピーター等による集客を、そして村民とのふれあいが持続できるような仕組みを検討していきたくないと考えております。

〈議員〉 村長の話しの中では、今までの行事にある程度の充実を図っていききたいという感じを持ちましたが、新規に何かを始めるといふ様子がうかがえなかつたことは残念です。やはりその時代に合った行事なり、何か新しいものを取り入れていく必要があると思います。

〈村長〉 道の駅中山盆地を中心とした事業になるという傾向はやむを得ないと思います。連携していく上において、年間行

事等々、毎月何かをやるという方向で計画していきたくと思います。鳴沢村では、年間の行事予定が開示してあります。また、記念イベントについても、村の職員に頑張っていたいただき、何か取り入れていきたくと思っております。

〈議員〉 村長が前向きに検討していたことは大歓迎です。やはりその中には村民の声も入っていたいただき、特徴のある行事をよろしくお願いいたします。協力もいたします。



# 一般質問



小林 進 議員

## 農産物加工施設の 運営方法は

〈議員〉 令和元年10月に農林建設常任委員会で飛騨高山市の体験交流館を視察しました。当時の高山市の人口は8万7000人余り、観光客は年間220万人、そのうち体験交流館の利用者は2万6000人ほどのことでした。高山村の年間観光客は年間約30万人であり、高山市の利用率を当てはめると観光交流館の利用者は3500人くらいではないかと予想されませんが、一概に比較することはできませんが、波に乗るまでは簡易施設での運営なども提案してきました。しかし、結果として観

光交流館の総事業費は7億8000万円を上回る大変高額なものとなりました。私には施設建設の目的も分かりにくいものと感じられ、同様の感想を持っている村民の方も少なくないように思います。このようなことから、令和2年度、3年度の当初予算は反対してきました。

しかし、高山市と違うところが一つ、それが農産物の加工所が併設されるということ。来春の観光交流館オープン後に農産物加工所も稼働することになります。村が利益を出すことが目的ではなく、村民の起業意欲をかき立てるような運営方法が良いのではないかと考えています。そこで、次の項目についてお伺いをいたします。

- ① 従業員の募集はどのように行うのか。
- ② 加工品はどのようなものを予定しているのか。
- ③ 加工品の販売先などの確保は。
- ④ 採算ベースに乗せるための戦略は。

## 村民の起業促進を 目的として運営する

〈村長〉①については、国の財源が期待できる地域おこし協力隊の登用により、関係人口の増加も視野に入れながら、村外からの移住者を取り込んでいきたいと考えています。また、たかやま振興公社には社員及びパートの募集をお願いしたいと考えています。

②については、村内等の農産物での1・5次加工を中心に、村内の農家のニーズにあった多様な加工を進めていきたいと考えています。

③については、当初は、村内での販売及び地元での消費を基本として、加工する量の規模の拡大により、同時進行で販路についても確保していきたいと考えています。

④については、観光交流館の集客ベースを常に把握したうえで、第1に商品開発を進め、第2に販路開拓として関係企業に

協力をお願いする一方で、指定管理者である振興公社による独自営業を進めてまいります。

そして、地元農家さんとの連携としてエダマメのペーストなどを活用してメニュー開発を進め、将来的には、村内の農家さんたちが組合等を設立して、観光交流館の加工所であらゆる農産物等の加工を行っていただき、村内に起業してくださることを目的として運営していきたいと考えています。

〈議員〉 このプロジェクトは既に始まっていることです。小林が反対したのは間違いないと言われるような施設になることを希望をしています。私も微力ながら協力できるところは協力していきたいと思っております。村民みんながいろいろな物を作ってくれたらと思うような施設にしていきたいことをお願い申し上げます。



後藤 明宏 議員

**アグリメディア社による村の魅力開発、就農支援に対する高山村の受け入れ体制について！**

〈議員〉アグリメディア社による高山村の魅力開発、新規就農支援が来年度より具体的に始まりそうですが、積極的に高山村として情報提供と協力態勢を整えるべきだと思えます。

① イベントによる短期宿泊者の受け入れ先

② 就農希望者や研修生など、長期滞在者向け宿泊施設として古民家を借り受け、就農支援の活動拠点として活用できないか。

③ 就農希望者を地域おこし協力隊として受け入れ、3年間の

活動後新規就農者として村内での就農を結びつけるなど。

④ 各種イベント、高山村の魅力体験の場、農業体験または就農に向けたほ場の提供も必要と考えます。

高山村として今後益々加速する農業後継者不足、遊休農地、耕作放棄地に対処すべくアグリメディア社との共同政策であり、村としての対応をお聞きいたします。

## 農業体験のほ場や貸し農園を提供

〈村長〉今年9月補正予算により可決いただきましたアグリメディア社との就農支援・農的魅力開発支援業務内容として、1つが新規就農者支援業務につきまして、現状分析として、アグリメディア社が運営する「あぐりナビ」の会員8万人に対して高山村での新規就農に関するアンケートを実施し、そのニーズ等を分析。また、受け入れ先

の調査として、受け入れ農家等の情報を整理し、特徴や研修の内容等をヒアリングのうえ明確にし、受け入れ体制の整備プランを作成し報告をしていただくこととなっております。

次に、2つ目の遊休農地解消及び道の駅等の周辺施設を活用した農的魅力支援業務では、現状分析として、遊休農地の状況や道の駅を中心とした周辺施設（温泉施設やコテージ、キャンプ場、牧場、今年度完成する観光交流館など）の利用状況等进行分析。遊休農地解消及び道の駅等の周辺施設を活用した農的魅力開発事業のゴールイメージを具体化し、施策及び次年度に向けた行動計画を策定する。この2つの業務を今年度実施いたします。

そこで、ご質問の答弁となりますが、今のところ貸し出せるような古民家がないため、役場近くに整備した、お試し住宅や体験交流館等を活用していきたい。また、地域おこし協力隊と連携した就農支援や今後アグリ

メディア社から提案されます各種イベント、農業体験をするためのほ場の提供など、コテージ近くの農地において今後地権者の方と交渉をして、貸し農園を提供していければと考えております。

〈議員〉アグリメディア社は一般企業であり、行政とのタイムラグが懸念されます。今回の企画は全国の方と高山村のマッチングですのでタイミングが重要と考えます。村の受け入れ態勢ができていないとなれば終わりです。アグリメディア社に任せるのではなく、こちらからも積極的に企画を持ちかけ、高山村の魅力開発、農業だけでなく村全体の活性化につなげていただくことを期待いたします。





山口英司議員

## 村長2期目の成果と

### 次期村政は

〈議員〉後藤村長は令和4年3月30日をもって村長2期目の任期が満了になります。任期中は新型コロナウイルス対策、観光交流館建設、その他多くの事業に取り組みました。この間の成果についてどのように考えているか伺います。

次に、3期目を指すことは既に新聞報道されましたが、次期村政についても問題・課題は山積していると思います。「笑顔で輝く高山村」実現のための考えを伺います。

## 3期目出馬を

### 正式に表明

〈村長〉新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、国は経済を立て直すべく様々な緊急経済対策を実施してきました。高山村においても、事業者及び農業者に対する給付金や村民応援事業、GIGAスクール構想による教育環境の整備、プレミアム付商品券の発行事業などを行ってまいりました。

ワクチン接種は、8月末には対象者の85%以上の村民の方が接種を終え、来年2月には3回目の接種が始まります。今後第6波が懸念されるところでありますけれども、動向を注視しながらウィズコロナ・アフターコロナ社会に向き合っていきたいと考えております。

道の駅周辺整備事業では、観光交流館が来春完成の見込みとなりました。紆余曲折を経てきましたが、村内外の人たちの交

流の場、関係人口の増加を図る場として、期待しているところでございます。

テレビ無線共聴システムは、令和3年3月に完成し、通常のアンテナでテレビの視聴ができるようになり、住民の負担軽減に繋がったものと思います。

今後手がけなければならぬ事業として、オープン後の観光交流館の運営管理は大きな課題であり、地場産品を活用した加工所、カフェ、マルシェ、移住相談、観光案内等々、軌道に乗せていかなければなりません。

農業面では原地区土地改良事業において、国の事業採択に向けて計画を策定中でございます。21・8haの農地を集積することにより、専業農家からの期待に応えるとともに、村活性化に繋がるものと期待をしています。また、遊休農地の活用及び就農支援については、アグリメディア社と協定を結び、具体的な事業計画を策定中であります。高山村の美しい田園風景を守るためにも、

力を注いでいきたいと思えます。

上越新幹線中山トンネル立抗問題では、立抗の廃止に向けて関係各位と協議を重ね、実現させていかなければならないと考えております。

築50年を経過し、老朽化が進む役場庁舎は、基金の積み増しを行い、建て替えの準備を進めていきたいと考えております。

群馬県に働きかけてきた、県道36号線の改良工事も着工が決まり、渋川方面へのアクセスの改善に繋がるものと思えます。

以上、何点か申し上げましたけれども、国の動向、村の財政状況等注視しながら「100年先も住み続けたい持続可能な高山村」そして「笑顔で輝く高山村」の実現に向けて邁進していきたいと考えています。このようなか中で、3期目を指し、村長選に出馬することを決心いたしました。皆さんのご支援を心からご期待を申し上げて、答弁とさせていただきます。

## 全員協議会

令和3年11月1日、同月26日に全員協議会が開催されましたので、主な議題と概要についてお知らせします。

### ①投票所の統廃合について

期日前投票所での投票者が年々増えているため、現在9か所ある投票所を減らす方向で検討することが報告されました。

先の総選挙では期日前投票者が約4割を占め、他自治体でも同様の動きがあり、来年度からの統廃合が決まっているところもあるとのことでした。

統廃合もやむを得ないが、同時に投票率を下げない工夫も必要との意見が出されました。

### ②新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について

3回目の接種は2月中旬から順次行う予定であること、今回使用するワクチンは、ファイザー社製と武田／モデルナ社製

の2種類であることが報告されました。

厚生労働省のHPによると、米国の研究では交互接種（初回接種で使用したワクチンと異なるワクチンを使用すること）を伴う追加接種の抗体価の上昇は良好であり、副反応は初回接種で報告されたものと同程度であるとのことでした。

### ③上毛カントリー跡地の太陽光発電計画について

11月14日に開発業者から新聞折り込みによる説明会開催の案内チラシが頒布されたが、会場の手配がつかず中止されたこと、その後開発業者からの電話により説明会開催の見通しは立っていないと連絡を受けたとの報告がされました。

### ④プレミアム付商品券の販売状況について

追加販売分427冊（15枚綴り）を含め、合計で1万8677冊を販売したと報告されました。

## 令和4年度に向け

## 要望書を提出

令和4年度の予算編成及び施策の策定に当たり、11月30日に議会から村長へ要望書を提出しました。要望事項は次のとおりです。

### （要望事項）

1、観光交流館の効率的な業務運営体制の早期確立を図ること

2、園児・児童・生徒に係る給食費を無償化すること

3、役場庁舎の整備を進めるに当たっては、民意をよく聞き、多角的視点から十分に検討すること

4、村民運動会・中学校の運動会並びに小学校・こども園の運動会の合同開催実現に向け、関係者等と協議・検討すること

5、令和4年度の予算編成に当

たっては、前例にとらわれることなく事業の検証を行い合理化に努め、効率的かつ安定的な行財政運営に努めること

6、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すること

7、議会事務局の強化・充実を図ること



## 政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう  
**三ない運動**

贈らない!

求めない!

受け取らない!

これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

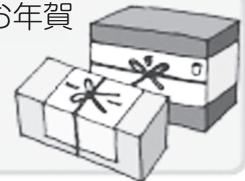
落成式・開店祝等の花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省 なるほど! 選挙「寄附の禁止」

(公財) 明るい選挙推進協会

総務省 寄附の禁止

検索

明るい選挙推進協会 三ない運動

検索

## ～議会HPに「会議録」を掲載しています～

議員の質疑や討論、村長の答弁などの全文をご覧いただくことができます。



会議録トップページ



議会ホームページ

議会ホームページURL <https://www.vill.takayama.gunma.jp/gikai/index.html>

## 議会を傍聴してみませんか？

- 傍聴は、備え付けの受付票に住所、氏名、年齢を記入し投函するだけです。
- 傍聴席への出入りは自由で、本会議中でも入退室ができます。

令和4年第1回定例会 本会議 (予定)

2月24日(木)、3月9日(水) 午前10時から

一般質問は2月24日(木)

村民ひろば

県指定文化財

「中山敷石住居跡」

佐藤 政雄（本宿）

原地区の田中時雄さん御夫妻の機転によって、県下でも稀に見る発見。椎茸栽培のフレームづくりで何か所杭を打つても同じ深さで石に当たる。不思議に思い掘ってみると平板の石がある。この付近は数多く石器が出る土地。もしかしてと教育委員会に連絡、すぐに駆けつけた。「敷石住居かも？」

翌日、県の文化財保護課が現場調査に赴き、即「これは敷石住居跡である」。田中さんの承諾により発掘調査を開始。慎重に、慎重に発掘してみるとこの史跡は祭事場、集会場であった。浅間山に向かい祭壇ができていて、周囲に住居があるからとこれ以上の発掘はできない。

県下でも稀に見る史跡なので、周りから見学できるような簡易施設で史跡を守っている。原公民館より東に徒歩5分。群馬県の指定文化財、史跡で古代に思いを馳せてみてください。



議会の動き

- 10月 5日 議会運営委員会
- ” 第3回臨時会本会議
- ” 全員協議会
- 18日 議会広報編集特別委員会
- 21日 株式会社アグリメディアとの打ち合わせ会議
- 11月 1日 全員協議会
- 12日 吾妻郡議会事務局職員研修会（草津町）
- 18日 議会運営委員会
- 19日 群馬県町村議会広報研修会（前橋市）
- 26日 全員協議会
- 30日 第4回定例会（開会日）本会議
- ” 提出議案調査
- ” 議会要望書提出
- 12月 7日 第4回定例会（閉会日）本会議
- ” 議会広報編集特別委員会
- 10日 吾妻広域町村圏振興整備組合監査



編集後記

年始の挨拶の決まり文句として、「昨年を振り返ってみます」と回顧することがあります。

ということ、令和3年はその前年から引き続きで、何としても「コロナに始まりコロナに振り回された」一年となりました。

国も地方も大きなお金と人の力を使い、アイデアを出しながら日々大変な仕事に関わっていただきました。医療を始めコロナ対策に関わった方々に対して、改めて感謝の気持ちを伝えることができたらと、この記事を書いています。

地球を支配するような「コロナ騒ぎ」が一日も早く人の動きを制限する感染症でなくなることを願いつつ、私も議会人としても、村民皆様方の期待に応えられるような活動に取り組んで行くことを肝に命じていきたいと思えます。

林 和一

【発行責任者】

議長 長 林 昌 枝

【議会広報編集特別委員会】

委員長 山 口 英 司

副委員長 林 和 一

委員 後 藤 晴 一

委員 佐 藤 明 宏

委員 後 藤 明 宏